

特集3 地域社会で歓迎される会社を目指して ～タイでの取り組み～

NMBミネベアタイ(以下、ミネベアタイ)は1982年に生産を開始し、現在ではミネベアグループ全体の約50%の生産を担う当社グループ最大の生産拠点です。このタイでの発展は地域住民の方々の理解と協力なしでは成立しません。ここでは、「地域社会に歓迎されなければならない」というミネベアの「五つの心得」を実践し、地域社会とのつながりを深め、ともに発展していくためのタイでの活動を紹介します。

地域の子どもたちを育む

ミネベアタイで力を入れている取り組みの一つが学校への支援です。工場周辺の学校に対して物資の寄贈やイベントを行うことで、教育レベルの向上や地域との関係強化などを図っています。

アユタヤ県にあるワド・タン・クラン学校は支援する学校の一つで、特に貧しい家庭の子どもたちに対して教育機会拡大を目指しています。ミネベアタイでは、これまでも図書館建設などの支援を行ってきましたが、2014年1月には音声や映像を使った英語教育ができる機材やヘッドセット40セットを寄贈。聴覚・視覚を活用したより効果的な英語授業が可能になりました。生



英語授業の風景

徒たちも「英語の授業がとても楽しくなりました。将来さまざまな国の人と話せるようになりたいです」と笑顔で夢を語ります。また、調理用具や材料を寄付するとともに、ミネベアタイ従業員によるお菓子づくり教室を開講。生徒や地域の方々へお菓子づくりを学んでもらい、学校が主催するイベントで販売することで、学校運営や参加者の生計向上に役立てようと計画しています。

「ワド・タン・クラン学校は先生たちが非常に熱心でチームワークも良く、ここで学校支援のモデルをつくり、ほかの学校にも展開していきたいです」と担当従業員はこれからの計画を語ります。



従業員によるお菓子づくり教室

ワド・タン・クラン学校

■多くの子どもの英語教育が改善しています

英語の能力は生徒の未来を明るくしてくれますが、タイでは英語の先生が不足していることが課題です。そんな中、今回寄贈いただいた設備は、生徒に貴重な機会を与えてくれました。学校周辺の地域住民ともこの機材を共有しており、多くの子どもたちの英語レベル向上に役立っています。ミネベアタイ様のご支援にはすべての先生が感謝しています。



ワド・タン・クラン学校
アンパポーニ チューチャイ先生(英語担当)

■多くの協力に感謝しています

ミネベアタイ様には今回の英語用機材やお菓子作りだけでなく、工場見学や洪水時の復興など多くの支援をいただき、生徒の教育環境が改善しています。また、家庭の事情でコミュニティ外に出られない子が多く、こうした社会とかわる機会をもらえることは非常に大きな学びとなっています。これまでのご支援に本当に感謝しています。



ワド・タン・クラン学校
トンチャイ プーン・ウ・ダーン校長

環境を豊かにする

工場周辺環境の保全も地域において重要な取り組みの一つです。環境に配慮した生産活動を行うのはもちろんのこと、積極的に環境を改善する活動にも取り組んでいます。

特に力を入れているのがマングローブの再生活動です。バンコクの東部に位置するチャチュンサオ県にあ

るバンパコン川のグヌー公園。鳥の公園という意味で、コウノトリなどが多く生息し、この川の生態系に重要な役割を持っています。この公園の環境を保全するため、2013年12月にミネベアタイ従業員の有志が400本のマングローブを植林。公園の自然保護官と協力して成長を見守っています。また2014年3月には、公園の管理団体に植林で使う靴を50足寄付するとともに、カニを放し、地域の生物多様性の保全に協力しています。



環境保全活動を行うグヌー公園



植林したマングローブ



公園に放したカニ

地域社会とともに発展する

地域住民の生活を向上させ関係性を強める活動にも取り組んでいます。ロッブリ工場周辺地域の家庭では、家計を切り盛りする女性の収入が十分でないことが課題となっています。そこで、地域の女性への技術移転を通じた生計向上プロジェクトを2011年より実施しています。それまで地域住民の多くがせつけんな

どは使わないという衛生面の問題もあったことから、近隣の大学と協力して洗剤の作り方を地域住民に教える活動を進めています。活動では洗剤の材料も提供し、完成した商品を販売してもらうことで、一人当たり月に3,000バーツ程度の副収入を得られる仕組みです。ミネベアタイとしてもこれまでに多くの洗剤を購入してきました。

今後は、一般向け販売の増加も視野に入れた支援を行い、活動の拡大を目指していく予定です。



参加住民の活動

プロジェクトに参加できて幸せです

ミネベアタイ様からは本当に多くの支援をもらえて、非常にうれしいです。洗剤を自分たちでも使えるようになりましたし、活動で得られた収入のおかげで子どもにより多くのお金を使えるようになりました。また、このプロジェクトを通じて、コミュニティの人々の間に強い一体感が生まれました。本当に素晴らしいプロジェクトだと思います。



プロジェクト参加住民 リーダー
ウオンチャン クナム氏